



田布施中だより

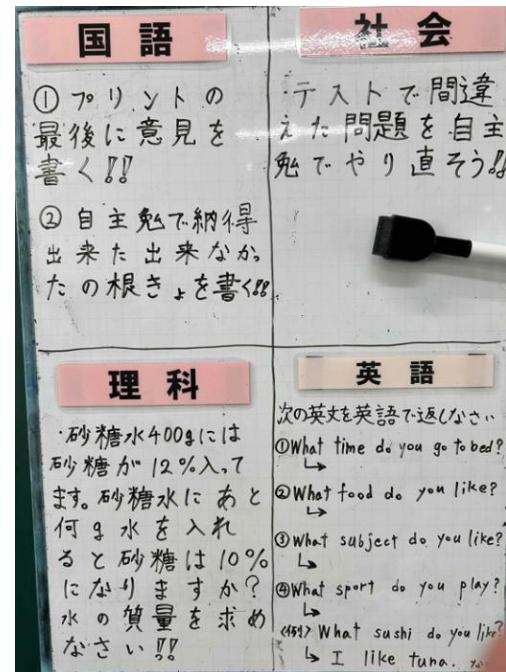
家庭・地域・学校をつなぐ架け橋

令和7年
10月2日発行
第5号
田布施町立田布施中学校発行
52-2138

家庭学習の効果的な方法を模索しています

今年度7月に行った学校評価アンケートによると、保護者は「家庭学習」について不安に思い、子どもたちの3割は「家庭学習が充実していない」と実感しています。この現状は昨年度も同様でした。本校では学力の定着のために、昨年度から今年度にかけて、家庭学習の進め方について改善していこうとしています。以前までは、自主学習ノートを1ページ行なうことが、家庭学習を推進する働きかけでしたが、昨年度から学習委員会を中心に「やまぐちっ子学習支援プログラム」を積極的に家庭学習で行なうことを続けてきました。授業で学んだことを学習プリントで復習することで、学力を伸ばした生徒もいました。

そこで、本校では「なんとなく分かる」から「できた」まで引き上げることを大切に家庭学習の方法をある程度提示することにしました。1年生は、授業のねらいにそつた、「今日の一問」を授業で教師から提示し（右の写真）、生徒はノートを4分割して、各教科に出された「今日の一問」に取り組みます。この取組は授業と家庭学習を有機的につなげ、「今日の授業が分かった。できた」と実感できることを期待しています。生徒から授業内容を家庭で復習しやすいという感想が出ています。2年生は4月の確認問題で学力が伸びていることが分かったので、昨年度の冬から家庭学習にやまぐちっ子学習支援プログラムに取り組む、または自主学習を行うことを継続しています。3年生は受験が近いので、1年生からの復習が行えるワークブックに取り組んでいます。それぞれの学年で家庭学習の進め方を工夫して、進めています。今後も学習の成果を確認しながら、生徒に応じて家庭学習の提示を工夫していきます。



1年生の自主学習ノートの課題

学校評価アンケートの分析と今後の方針

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート結果のもと、今後の方針についてご説明させていただきます。全体的に見て、大きな変化はありません。良いところは継続している一方で、なかなか課題解決できていないのも事実です。ぜひ、学校、地域、家庭で連携して、より良い教育活動にしていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。

(以下数値は、生徒の肯定的回答をしている割合を%の単位で表している)

① 相手の話を聞くについて 今年度…令和7年度7月集計、昨年度…令和6年度7月集計

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、人の話を最後まで聴いたり考えたことを進んで話したりしていますか	96	98
保護者	あなたのお子さんは、人の話を最後まで聴いたり考えたことを進んで話したりしていますか	78	86

<分析・考察> 多くの生徒、保護者が肯定的に評価している。今後も家庭と連携して継続して「人の話を聞くこと」「自分の考えを話すこと」の価値や意義について指導を進めるとともに、そうした場を設定すること、更には「聞くこと」「話すこと」の価値を実感できる場面、達成感や成就感をもてるような場面を設けるとともに、その場面を見逃さず積極的に評価していくけるよう取り組んでいきたい。

② 挨拶について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、進んで明るく元気な挨拶をしていますか	94	96
保護者	あなたのお子さんは、進んで明るく元気な挨拶をしていますか	79	86

<分析・考察> 「自分から進んで大きな声で挨拶をする」を行動目標にしている。今夏、保護者や地域の方からは「中学生から挨拶するようになっている」等、高い評価をいただいた。挨拶することの意義を含め、指導を進めるとともに、あいさつ運動やボランティア活動等で保護者や地域の方と触れ合い、挨拶をすることが地域にどのような効果をもたらしているのか直接感じる場面を設けるなどしていきたい。

③ 集団で動くときは静かな雰囲気を作り出すについて

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、全校集会の入場など、集団を意識して行動するときに、静かに行動していますか	96	無

<分析・考察> 今年度から新たに生徒に聴いた項目である①～③については、今年度「感じのいい生徒の育成」で大切している行動目標である。学校内では、全校集会の入場や給食の配膳中の集団活動で全体の雰囲気に気を配ることができるように指導をしている。今後は、学校外の活動でも、静かな雰囲気を作り出すことが発揮できるように指導を続けていきたい。

なお、①～③の質問項目は今年度重視している「感じのいい生徒」の具体的な姿として、生徒と共有している項目です。「感じのいい生徒」が表れたときは、学校、家庭、地域ともにしっかりと褒めていきたいと考えています。ご協力お願いします。

④ 学習内容の理解について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、授業内容が分かっている	89	88
保護者	あなたのお子さんは、授業の内容がよく分かっている	76	65

<分析・考察> 昨年度末と同様の数値である。多くの生徒が肯定的に評価しているが、11%の生徒、24%の保護者が授業内容の理解について不安をもっていることに注視していく。今年度は「見える学力・見えない学力の向上をめざして～生成AIを活用した学びのサイクル～」を研修主題にして、授業改善に取り組んでいる。特に、授業と家庭学習をつなげるための授業と家庭学習の在り方を模索している。今後もより一層保護者、学校運営協議会委員等に授業公開するなど「授業を開く」機会を設け、不安を軽減できるようしていくことが大切である。

⑤ 読書について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、自分から読書に親しんでいますか	65	62
保護者	あなたのお子さんは、自分から読書に親しんでいますか	58	45

<分析・考察> 昨年度7月と同様に他の項目と比べても顕著に低い。昨年度、学校運営協議会でも改善の一つとして読書活動があがり、熟議を重ねてきた。配膳準備の時間を活用した読書の時間を設定しているが、自分から進んで読書をするまでに至っていない。夏休みに地域の方や生徒のボランティア活動で、図書室の本の置き場所などを見直し、カーテンを替えるなど一人でも多くの生徒に図書室を活用できるように工夫を講じた。今後、図書館のリニューアルを起爆剤として、読書活動の啓発により一層取り組んでいく必要がある。

⑥ 学校愛について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、学校が好きですか	89	88
保護者	あなたのお子さんは、学校が好きだと思っていますか	91	89

<分析・考察> 生徒も保護者からも同様に約9割が肯定的に捉えている。改善はみられるものの、まだ9人に1人の生徒が否定的であることに注視したい。今後、授業、学校行事、部活動等、様々な機会を通じて、達成感、成就感をもてるよう、そして自己肯定感、自己有用感を高められるようにしていくことが大切であると考える。2学期からの取組について改めて見直し・改善を図りたい。

⑦ 地域愛について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、地域の人との活動を通して、地域のことに対する興味をもち、地域のことが好きになっていますか	75	76
保護者	あなたは、学校の教育方針や活動方針等を踏まえ、学校・家庭・地域の連携・協働による取組に積極的に関わっていますか	92	88

<分析・考察> 昨年度も7月の1回目では同様の数値で、12月の2回目の調査では82%と高くなかった。昨年度は「たくまるボランティア」等、町教委とタイアップしたボランティア活動に参加する機会や、学校保健安全委員会や昼休みのコミスクリームの活動を通じ、6%以上の数値が上昇し、一昨年度と比べて15%上昇した。今年度も同様に取り組むとともに、より参画意識をもてるよう取組の見直し・改善を図っていく予定である。

⑧ 健康（睡眠と食事）について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは健康を大切にし、適切な食事と睡眠を心がけていますか	85	88
保護者	あなたのお子さんは、健康を大切にし、適切な食事と睡眠を心がけているように見えますか	82	89

<分析・考察> スマートフォンの普及により、就寝時間が遅くなっている傾向がある。学校としても、生活の基本は食事と睡眠にあると捉え、指導を進めている。アンケートから、約6人に1人は適切な食事と睡眠を心掛けていないことが分かった。また、保護者の受け取り方も5人に1人以上が改善するべきであると認識している。本校は学校保健安全委員会の活動や生徒会の保健委員会が様々な活動をしている。生活の基盤となる食事と睡眠の充実や確保をどのように進めていくのか、この数値をもとに考えていきたい。

⑨ 体力向上について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、外遊びや運動・スポーツに進んで取り組んでいますか。	74	74
保護者	あなたのお子さんは、外遊びや運動・スポーツに進んで取り組んでいますか。	74	68

<分析・考察> 一昨年度末から上昇し、今年度も同様の数値である。今年度 PTA バザー会計を利用して、各学年でバレーボールとサッカーボールを2個ずつ購入し、昼休みで貸し出しを始めている。昼休みに外で遊ぶ生徒が増え、大きな上昇につながっている。また、保健体育の授業では、運動することの楽しさを感じられるように ICT を活用した授業も良い影響を与えている。今後、生徒会主催のクラスマッチや学級ごとの外遊びの企画・実施等の充実を図り、一人でも多くの生徒が外遊びや運動に進んで取り組むように指導を進めていく。

⑩ 家庭学習について

対象	質問内容	今年度	昨年度
生徒	あなたは、自分に必要な学習を考え、自主的に家庭学習に取り組んでいますか。	71	72
保護者	あなたのお子さんは、自分に必要な学習を考え、進んで家庭学習に取り組んでいますか	61	55

<分析・考察> 7割の生徒が取り組んでいると認識している。学習委員の活動の影響で、多くの生徒はやまぐちっ子学習支援プログラムのプリントに積極的に取り組んでいる。今年度は、授業のねらいに対して、家庭学習の取組をつなげることを意識して、家庭学習の内容を工夫していくことを念頭に置いている。生成 AI を活用して、家庭学習が充実できるように、授業の中でも指導をしていく。タブレットの持ち帰りにご理解していただき、家庭の中で有効に活用していただきたい。

⑪ 学校と保護者との連携について

対象	質問内容	今年度	昨年度
保護者	学校は、各種たよりやホームページ等で、学校の様子や必要な情報を適切に発信していますか	97	88

<分析・考察> 昨年度とほぼ同様に高い数値である。欠席者への連絡等を含め家庭連絡を行うなど、学級担任を中心にきめ細やかに対応することに努めている。また、学校の取組についてご意見をいただく際にも、丁寧に聴き取り、より良い方法を模索する姿勢を大切にしている。今後とも保護者の方が信頼をより一層得られるよう丁寧な対応に努めてまいります。アプリ等を利用した学校行事の発信ですが、個人情報との兼ね合いも含め検討します。

上記の項目以外にも、保護者から感謝の言葉やご意見、ご質問をいただきました。ご意見を踏まえ、継続、改善を考えていきます。

・学習指導について

定期テスト、評価の仕方については研修を重ね、学年で統一して進めていくことを確認しました。また、定期テストの実施日につきましても授業時数の確保との関係もあるので、来年度は現状の日程で考えています。

・PTA 奉仕作業の日程について

多くの保護者の方に参加していただいていることに感謝しています。例年、小学校と同じ日に設定している理由は保護者の負担を軽くしたいという想いがあるからです。春は中学校、夏は小学校のように上手に分けて参加してください。来年度も同日に設定する予定です。

・生徒指導や生徒の安全面について

今後も研修を重ね、生徒が主体的に行動できるように支援を続けていきます。また、防犯につきましても警察の助言をいただきながら進めてまいります。